

やざわ 矢沢たかお

NEWS

自由民主党 川崎市議会議員

みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。令和6年元旦に起きた石川県能登地方大地震、翌2日に発生した羽田空港事故より多くの死傷者、被害が発生しました。心からお悔やみを申し上げますと共に、川崎市としても同日付で消防航空隊を現地に派遣、以降も早々に様々な支援活動に取り組んできたことをお伝え致します。今回のVol.31は市議会第5回定例会における内容が中心です。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

Photo: 議場閉場式の様子

Vol. 31

2023 August

2024 January

討議資料

第5回定例会おけるご報告 2 項目

1 地域公共交通の充実に向けて

～2024年問題による影響も～

< 質問の背景 >

トラックドライバーの労働時間が短くなることで、物資の輸送能力が不足し物流に支障をきたす恐れがある問題、いわゆる「2024年問題」。本市のバスネットワークも既に影響を及ぼしており、早朝深夜バスをはじめ運行が出来ない状態となっています。一方で、本市には元々川崎縦貫鉄道計画が存在していました。平成30年に廃止になったものの、バスネットワークの充実を掲げた総合都市交通計画が現在進められています。本市の今後の取り組みを伺いました。

Q 今議会、地域公共交通の今後に関する我が会派の代表質問では、まちづくり局長からは、いわゆる2024年問題を念頭に、現在の本市路線バスネットワークの維持が困難になること等に触れ、バス路線の一層の効率化を進める旨の答弁がありました。

状況については理解するものの、一方でこれまでの経緯もあります。平成30年3月に公表された川崎市総合都市交通計画で、川崎縦貫鉄道計画の正式な廃止が記載され、「身近な地域の交通を支える公共交通ネットワークの充実」が打ち出されました。当然ですが、新たに駅を設置しようとしていた場所というのは、駅を設置しようとするだけの交通課題があります。鉄道計画が廃止になった中で、主に路線バスネットワークの拡充・利便性の向上を掲げたのが、現在の計画である以上、地域公共交通の今後に関して、「バス路線の一層の効率化」で締めくくるべきではないと考えます。今後の方向性について、まちづくり局長に見解を伺います。

A 現在、全国的にバス運転手の不足が報道等で取り上げられ、本市においても、早朝深夜の減便や、日中の運行本数が維持できなくなるなど、バス運転手不足が顕在化してきている。

このような環境の変化に対応し、本市の強みである「都市の利便性」の維持、向上に向けて、新たな取組を展開する必要があると考えている。

具体的には、運転手不足への対応策の一つとして、複数の系統が重複しているバス路線や長大路線の改善、路線バスとデマンド交通などとの連携、バス事業者をはじめ、関係する様々な主体との連携により、持続可能な地域公共交通ネットワークの確保に向けた取組を進めていく。

2 野球場利用申込について

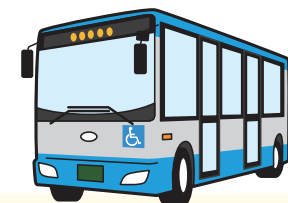
～不正の温床である「ふれあいネット利用枠」～



QRコード読み取りで詳細内容が確認できます



第5回定例会 一般質問の様子



川崎縦貫高速鉄道線 路線計画図

日々、どういった活動をしているの!? 矢沢たかおの 日々の活動

令和5年2023 10月 ▶ 12月

活動の一部を写真で紹介します



くさま剛支部長との 駅頭市政報告



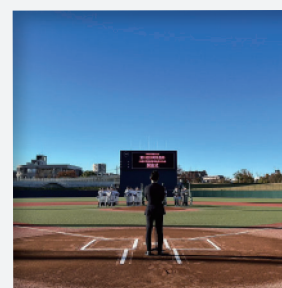
野川神明社例大祭



北部市場水産&関連合同 「食彩祭り」にて挨拶



市幼稚園父母の会会長として 市長・議長表敬訪問



第13回川崎市長川崎中学硬式 野球大会で挨拶 (等々力球場)



新本庁舎での総務委員会



地域有志の市政座談会



多摩川河川敷野球場利用 実態調査



川崎市生涯学習プラザ 30周年式典

主な議会 スケジュール

- 10月
- 第4回定例会 (～10/13)
- 常任委員会
- 総務委員会視察

- 11月
- 第5回定例会 (11/27～)
- 常任委員会
- 新庁舎開帳式典

- 12月
- 第5回定例会 (～12/20)
- 常任委員会

- 1月
- 各団体新年 賀詞交歓会等
- 常任委員会

- 2月
- 第1回定例会 (2/13～)
- 常任委員会

しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください!

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山 1-20-12

電話 044-976-2727

FAX 044-976-8686

mail mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索

https://www.yazawa-t.jp/

twitter facebook



第5回川崎市議会 定例会 12月議会のご報告

11月27日から12月20日までの24日間の会期中、令和5年川崎市議会第5回定例会が開催されました。今議会では、追加議案含めて議案38件、報告1件、意見書2件、議員提出議1件が上程されました。代表質問では、「令和5年度一般会計補正予算」、「令和6年度予算編成方針」など29項目と多岐に渡り、各取組、課題について質しました。各常任委員会での議論を経て、定例会採決日に上程された議案すべてが可決成立しました。

定例会の冒頭、市長から、地域経済の持続的な発展と日本におけるカーボンニュートラルの早期実現を目指し、川崎重工株式会社と連携協定を締結、川崎臨海部を中心とする大規模サプライチェーンの構築に向けた取組について説明がありました。今後、臨海部に立地する企業や海外企業のほか、東京都や大田区など近隣自治体とも、しっかり連携しながら、本市が、首都圏の大きな需要と供給をつなぐ中心拠点としての役割を果たすことで、我が国のカーボンニュートラル実現に貢献していくことが期待されます。



上：青木功雄 議長
下：野田雅之 議員

物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯 へ追加支援金が給付されます

令和5年11月2日に閣議決定された経済対策にて、本年夏以降1世帯当たり3万円を目安に支援を開始してきた物価高対策のための重点支援地方交付金の「低所得世帯支援枠」を追加的に拡大し、今回、1世帯当たり7万円を追加することで、住民税非課税世帯1世帯当たり合計10万円の支援が決定しました。

【スケジュール】

令和6年1月下旬 「支給のお知らせ」「確認書」の送付
令和6年2月下旬 給付金の支給開始

学校施設の更なる有効活用に向けた パブリックコメント手続が実施されます

我が会派は以前より、市民共有の財産である学校施設の有効活用に向け、校庭や体育館はもとより、特別教室等の積極的な活用を求めてまいりました。学校施設開放の手続きは全般に渡って煩雑でアナログな仕組みであり、地域の方々により利用しやすい、時代に即した仕組みを構築していくべきです。今年度、本市教育委員会は、民間事業者と連携し、利用手続きの簡素化や予約状況の可視化といった実証実験を行いました。実験では、実施した学校の利用者や教職員から「利用手続きや鍵の受け渡しに伴う負担が軽減された」という多くの意見やこれまで本市教育委員会事務局として把握できなかった各校の予約や利用状況が把握できるなど、各種手続きの簡素化が図られる効果が得られたとのことです。

学校施設の更なる有効活用に向けては、何よりも地域の方々愛着を持って気軽に利用できると共に、持続可能な仕組みが必要です。本市教育委員会は、広く市民のみならずご意見をいただき、今年度中に「学校施設の更なる有効活用に向けた実施方針（案）」を取りまとめるとしています。

12月11日から始まっているパブリックコメント手続にて、みなさまのご意見をお寄せください。



市立井田病院における 連携登録医向け専用電話回線 「つなぐつながるホットライン」

市立井田病院では、令和5年7月より連携登録医向け専用電話回線「つなぐつながるホットライン」を開設しました。平日は17時まで、土曜日は正午まで当日の受入れ要請に対応しており、電話対応をすべて看護師が行うものです。この取組により地域の医療機関との連携が今まで以上に強化、充実するものであり、地域がん診療連携拠点病院、結核病棟、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟などの特色を生かした地域に貢献する地域医療支援病院となることが期待されます。



市長へ令和6年度 予算要望書を提出

12月8日、市長に対し、自由民主党川崎市議会議員団から令和6年度予算編成に対する要望書を提出しました。要望項目は、防災対策の充実、デジタル化・手続きオンライン化の推進、都市再生に向けた施策の展開、快適で安全な都市環境整備及び市内農業の振興施策の充実、地域福祉・医療・子ども施策の拡充、市内経済の発展と中小企業・商店街活性化施策の充実、行財政改革の着実な推進に係る51項目。予算化については、令和6年2月開催予定の予算議会における代表質問等で質してまいります。



キングスカイフロント「殿町」プロジェクトが完成しました

本市及び大和ハウス工業株式会社がキングスカイフロント内で開発を進めていた「殿町プロジェクト」が完成し、先月まちびらきセレモニーが開催されました。ライフサイエンス・環境分野での世界最先端の研究開発から新産業を創出する、国際戦略拠点キングスカイフロントにおいて、2014年より開発が進められていましたが、このたび、研究施設4棟、ホテルからなる「殿町プロジェクト」が完成しました。

● キングスカイフロントとは？

A いすゞ自動車川崎工場跡地において開発が進む、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点です。規制緩和・財政支援・税制支援などの様々な優遇制度を活用できる国家戦略特区・国際戦略総合特区・特定都市再生緊急整備地域に指定されており、健康・医療・福祉・環境をはじめとした約70機関が進出しています。



● 殿町プロジェクトとは？

A 「殿町プロジェクト」は、医薬品や医療機器、再生医療等のライフサイエンス関連企業の研究拠点となる研究施設4棟と、世界初の“水素ホテル”である「川崎キングスカイフロント東急REIホテル」からなるエリアで、キングスカイフロントで勤務する従業員や地域住民などが集いやすく交流しやすいまちづくりを進め、「殿町プロジェクト」の敷地の中心にはシンボルツリーを有した「コミュニティパーク」を設置。「殿町プロジェクト」の南北に位置する2つの公園と「コミュニティパーク」をつなぐ「プロムナード」をつくるなど、回遊性を高めました。また、敷地内には四季折々の木々を植栽し、自然と調和した環境を整備しました。さらに「殿町プロジェクト」は、キングスカイフロントと羽田空港をつなぐ新しい橋「多摩川スカイブリッジ」が2022年3月に開通したことにより、羽田空港（第3ターミナル）から車で約5分と、国内はもとより海外からもスピーディーなアクセスが可能になりました。

新議場の開場式が 執り行われました

新本庁舎が竣工し、新しい議場及び議会機能の整備が行われたことを祝するとともに、これまで先人が築かれた川崎市議会の伝統を大切に、これからも、市民に開かれた議会として、より身近に感じられる議会であることをお示しするため、令和5年11月27日に議場開場式が開催されました。当日は、川崎市消防音楽隊による演奏の他、幸区のみゆき幼稚園の園児のみなさんによる心温まる合唱が披露され、新たな議場に華を添えてくれました。



本市初となる保育所と併設した 児童発達支援事業所が開所しました

令和5年11月1日から、社会福祉法人厚生館福祉会が運営している認可保育所土橋宝翠保育園において、児童発達支援事業所「宝翠レインボー」が併設されました。併設する保育所と児童発達支援事業所が、一日の活動の中で、子どもと一緒に過ごす時間をもち、それぞれの人員基準以上の保育士等が混合して支援を行う等、一体的な支援が可能になることにより、共に過ごし、互いに学び合う機会が生まれることとなります。省令改正及び条例改正により、令和5年4月から、保育所等における保育に支障が生じない場合に限り、他の社会福祉施設との併設を行う際に、特有の設備・専従の人員について、共用・兼務が可能となりました。本件は、川崎市で初めての事例です。本市は、今後も地域社会への参加・包容（インクルージョン）の考え方に立ち、障害の有無にかかわらず、全ての子どもが共に成長できる環境の実現に向けた取組を進めるとしています。



矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる（38歳）
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
- 法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ（株）入社
- 平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員（宮前区）初当選・令和5年三期目当選
- 令和5年度 総務委員会 委員 大都市税財政制度調査特別委員会 委員
- 趣味：剣道四段（五段に向け修行中）、空手二段、書道 毛筆三段 硬筆二段